

## 医学部

### 医師国家試験対策と直前メッセージ

医学部教育委員長 三上 哲夫

第117回医師国家試験は令和5年2月4日(土)・5日(日)に行われます。医学部では6年生に対して国家試験への準備として、外部業者の模擬試験(MEC)、補講プログラムとして客員教授2名による講義や国家試験の分析、卒業保留者に対しての合宿を行ってきました。また、学習環境として、今年度も6年生の使用できる自習用の部屋を確保しています。それに加えて、教員の提供する一番の国家試験への準備は卒業試験になります。卒業試験は医学部教育委員会の卒業試験運営小委員会が作問部会を設置し、前年度から準備をして作成しているもので、そこでは教員が医師国家試験出題基準を踏まえて新作問題を作成しており、卒業試験に向けての学習は国家試験に直結するものと考えています。この稿が学生の目に触れるのは国家試験の直前になると思いますが、卒業試験を突破した皆さんは、準備が十分にできていると自信をもって国家試験に臨んでほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症存在下の大学生活も3年目となりました。医学部での授業や臨床実習に多くの影響がありましたが、通常の感染対策の徹底、遠隔ツールの活用などにより乗り越えてま

いりました。メンターとの面談も遠隔ツールが活用され、成績や臨床実習に関する意見交換や助言ができていたように思います。

今回の受験生は基本的に2016カリキュラムにより学修してきた学年になります。学修成果基盤型教育のコンセプトのもと設計され、統合科目の運用、臨床実習を4年生から実施する、などの大きな改訂がなされたものです。このカリキュラムで学んできた皆さんは、国の考えている新しい医師養成の枠組みに十分対応できるものと思っています。教職員一同、今回の第117回医師国家試験の受験生全員が見事栄冠をつかみ取ることを期待しています。

試験を直前に控えたこの時期は、当日に力を十分に発揮できるよう、規則正しい生活と体調管理に気をつけてください。国家試験が実施される時間帯に実力が発揮できるように、生活リズムは朝型に切り替えましょう。新型コロナウイルス感染に対するリスクに多かれ少なかれ誰もがさらされている状況ですが、体調と行動の自己管理をきちんと行い、無事に当日を迎えられることを願っています。

## 薬学部

### 第108回薬剤師国家試験に向けて

薬学部・統合型演習科目運営委員 大井 浩明／松尾 和廣／檜貝 孝慈

第108回薬剤師国家試験は令和5年2月18日(土)・19日(日)に実施されます。

薬学部では、6年次に6年間の学習の総まとめを目的とする「薬学総合演習Ⅰ」(春学期、必修科目)、「薬学総合演習Ⅱ」(秋学期、必修科目)を開講しております。「薬学総合演習Ⅰ」では「これまでに学んだ知識の再確認と修得」を、「薬学総合演習Ⅱ」では「再確認した知識を問題解決に結びつけるための総合力の習得」を目標としています。最近の薬剤師国家試験では、医薬品の構造、図、グラフ、検査値を用いた問題や領域にとられない出題が増えてきています。合格するためには、さまざまな情報を読み取り、それらを総合して問題を解決する力がより必要とされるようになりました。そのため、上記2科目では、6年次の1年間を通して「問題を解決する力」を段階的に身につけられるよう配慮しています。すなわち、「薬学総合演習Ⅰ」では薬剤師国家試験の必須問題に相当する問題の演習を通して知識を「想起」できるようにし、「薬学総合演習Ⅱ」では薬剤師国家試験の一般問題(薬学理論問題や薬学実践問題)に相当する問題の演習を通して問題内容を「解釈」し、さまざまな領域の知識を総動員して「問題解決」につなげる練習をすることで理解のステップを踏んで力がつけられるようにしています。

さらに、薬剤師国家試験の範囲は非常に広いので、上記2科目の授業では十分に触れられなかった範囲については、秋学期に国家試験受験準備のための補講を実施しており、薬剤師国家試験の出題範囲をできる限りまんべんなく学習できるようにしています。

また、秋学期には上記講義・演習に加えて、学内実力試験を5回、

外部予備校による全国統一模擬試験を4回実施しています。各自がその結果をもとに周囲の状況を知るとともに、自分の国家試験受験準備の進捗状況を確認できるようにしています。その際、必要があれば教員や予備校講師との面談を行い、これまでの学習方法を見直して、その後の学習計画をいち早く変更・修正していけるようにもしています。

これまでの卒業生の皆さんの努力もあって、表に示しますように本学部の薬剤師国家試験新卒者合格率は全国平均を大きく上回る好成績を継続してきています。本年度6年生の皆さんも同じカリキュラムで学習してきていますので、これまでの実績を信じ、最後まで諦めることなく学習を継続していただければ、自ずと結果はついてくるはずです。気持ちを強く持って学習するようにしてください。

新型コロナウイルスも未だ予断を許せる状況ではありません。規則正しい生活を心がけ、特に試験直前には感染対策を含めた体調管理に十分注意してください。

3月下旬には全員から朗報が届くことを、教職員一同心よりお待ちしております。

#### ● 第103～107回薬剤師国家試験新卒者合格率

	103回	104回	105回	106回	107回
東邦大学	91.9%	94.6%	93.0%	93.8%	92.2%
全国	84.9%	85.5%	84.8%	85.6%	85.2%

## 第112回看護師・第109回保健師・第106回助産師国家試験対策と直前メッセージ

国家試験対策委員会 伊藤 桂子／望月 由紀子

厚生労働省より、令和5年2月9日(木)に第106回助産師、令和5年2月10日(金)に第109回保健師、令和5年2月12日(日)に第112回看護師国家試験の実施が公表され、いよいよ国家試験まであと1カ月をきりました。目前に迫る国家試験に向けて、それぞれの国家試験の特徴と看護学部で今年度を実施した対策、国家試験で問われる能力、直前のアドバイスについてお伝えします。

## 1. 看護師・保健師・助産師国家試験の特徴

**看護師** 看護師国家試験は、看護師として必要な知識および技能について問うものであり、毎年約5万人が看護師国家試験を受験しています。出題数は総数240題で、問題形式は必修問題50題、一般問題130題及び状況設定問題60題から構成されます。必修問題の合格の基準点は8割(合計50問中40問以上正答)と定められています。一方、一般問題+状況設定問題の合格基準点は、毎年変動します。過去10年の得点率が最高で66.8%、最低で57.2%と約10ポイントの差があり、確実に合格をめざすためには、得点率70%超えを目標とすることを勧めています。

**保健師** 保健師国家試験は、看護師国家試験とは異なり必修問題がありません。試験科目は、公衆衛生看護学・疫学・保健統計学・保健医療福祉行政論が範囲となっております。問題形式は一般問題+状況設定問題で、一般問題は、75題(1問1点)、状況設定問題は、35題(1問2点)で、総合得点は145点満点で合格が決まります。例年の基準ではおおむね6割を超えれば合格となります。

**助産師** 助産師国家試験は、出題数が110問、一般問題と状況設定問題のみです。例年の基準ではおおむね6割を超えれば合格となります。

## 2. 看護学部で今年度を実施した対策

看護師、保健師、助産師に共通する傾向として、多くの情報の中から必要な情報を取捨選択する能力や根拠に基づいて状況を判断する能力が問われ、状況設定問題において長い状況文を付した単問が増加しております。それらを踏まえて以下の対策を行いました。

**看護師** 看護師国家試験対策として、対策講座と模擬試験を実施しております。「人体の構造と機能」「疾病の成り立ちと回復の促進」を中心とした対策講座を4月、12月に実施しました。模擬試験は5月・11月・12月・1月に行っております。今年度は、12月に「目指せ！国家試験合格 緊急企画」として、特別強化学習を実施しました。また、アドバイザー教員からの定期的な学習指導も実施しております。

**保健師** 9月・11月の保健師の対策講座では、実践場面における保健師に必要な判断力を問う学習ができるように工夫しております。そして、9月・11月・1月には、国家試験を想定した模擬試験を実施しております。

## 3. 国家試験で問われる能力

**看護師** 令和5年度は出題基準が改訂され、アセスメント能力を試す出題、および長い状況文を付した単問が増加することが予測されます。このような問題で正答にたどり着くためには、患者さんの病態を文章から読み取り、看護の視点から論理的に考える能力が欠かせません。知識を「点」として覚えるだけでなく、それらを有機的に結び付けて「線」として理解するような学習が必須となります。

**保健師** 令和5年度は出題基準が改訂され、事業化、施設化を含めた内容や保健師としての思考力、判断力、応用力、読解力等が問われることが予測されます。根拠に基づいたアセスメント、多様な情報の中から必要な情報を取捨選択する能力、保健師の支援を決定するプロセスや優先順位を問う問題等が出題されています。このような現場に即した実践能力を問われる問題については、臨地実習で経験したことが重要であることを伝えて、経験を踏まえた学習をするように伝えております。

## 4. 直前のアドバイス

国家試験本番が目の前に迫ってくるこの時期は、勉強に集中していると食事の不規則になったり、極端に睡眠時間を削ったりすることが見受けられます。国家試験が実施される午前中に脳が働くように、ご家庭でも入試本番の時間帯に合わせて生活リズムを整えるようにアドバイスをしてあげてください。また、風邪、インフルエンザ、コロナウイルス感染予防対策も重要となります。マスクの着用、帰宅時のうがい、手洗い試行、室内換気が大切になります。食事のサポートも重要となりますので、栄養バランスや消化の良い食事等の健康管理に気を遣っていただくと有難いです。特に、保健師国家試験を受験する方は、例年同様に看護師国家試験の2日前に行われるため、気持ちを切り替えて受験に臨むことを伝えております。受験期は不安が募りやすく落ち着かないものですので、温かい家庭の雰囲気は何よりの支えになります。保護者の方が安心できるような雰囲気を作ってあげていただければと思います。

## ● 看護師・保健師・助産師国家試験の出題概要と合格基準

	出題数	点数(配点)	合格基準
看護師国家試験	必修問題 50問	50点(1問1点)	80% (65%前後 (毎年変動・相対基準))
	一般問題 130問	130点(1問1点)	
	状況設定問題 60問	120点(1問2点)	
保健師国家試験	一般問題 75問	75点(1問1点)	60%前後 (毎年一定・絶対基準)
	状況設定問題 35問	70点(1問2点)	
助産師国家試験	一般問題 75問	75点(1問1点)	60%前後 (毎年一定・絶対基準)
	状況設定問題 35問	70点(1問2点)	

## ● 看護師・保健師・助産師国家試験の試験時間

	午前	午後
看護師国家試験	2時間40分	2時間40分
保健師国家試験	1時間20分	1時間20分
助産師国家試験	1時間15分	1時間20分

## 理 学 部

## 国試対策と直前メッセージ

臨床検査技師課程 村野 武義

新型コロナウイルス感染症流行の第8波の気配も漂いつつあるなか、第69回臨床検査技師の国家試験の時期がやってきます。今年度は例年のとおり令和5年2月15日(水)に実施されます。

臨床検査技師課程の国家試験対策は9月の病院実習終了後より本格的に開始し、9月末より12月まで国家試験における重要科目についての受験対策講座を実施すると共に模擬試験を月1回程度実施し、学生に現状を認識してもらいながら、国試受験への準備を進めていきます。12月半ばから2月の初めまで毎週模擬試験を行い、直前までさらなる知識の上乗せを図り続けて2月15日の国試本番をめざしていくことになります。とにかく最後の最後まで気

を緩めずに取り組んでいくことが重要となります。臨床検査技師国家試験の出題範囲は広く、内容も深いものが多いため努力が直ちに結果に結びつくとも限らず、焦りも感じる時期もあるかと思いますが、基本に戻りながら油断せず過ごしていただきたいと思いますが、私たち教職員も個々の学生さんに並走して試験当日に最高の状態で臨めるよう、できる限りの準備に取り組んでいく所存です。

試験場で問題に向かうときは一人ですが、国試に至るまでに多くの方々の支えがあることを忘れず、全員が免許を取得できることを祈念しております。

## 健康科学部

## 健康科学部の国家試験対策と直前メッセージ

国家試験対策検討会 高橋 良幸

看護師国家試験は、厚生労働省が所管しており、今年度の試験はすでに看護師は令和5年2月12日(日)、保健師は2月10日(金)と公表されております。合格発表はいずれも3月24日(金)午後2時となっております(令和4年9月1日付 厚生労働大臣)。

昨年度の第111回看護師国家試験では約6万5千人が受験をし、約5万9千人が合格いたしました。全体の合格率は91.3%ですが、この数値は、3年制の学校出身者や既卒者を含むので、大学新卒者だけでみると98.2%の合格率となっております。

看護師国家試験は「必修問題」と「一般問題」、「状況設定問題」で構成されており、「必修問題」(基礎的な問題)は得点率8割以上が合格ラインとなります。これは何が何でも得点しないといけません。専門的な看護に関する「一般問題」、患者さんの状況に対する看護の判断などが問われる「状況設定問題」の昨年度の合格ラインは得点率66.8%であり、7割以上得点できると安心できます。こちらも気を抜くわけにはいきません。国家試験は過去に出題された問題内容が形を変えて出題されるので、ラストスパートの時期には過去問題を解き、間違えたところや知識が不十分なところを見直しておくこと効率よく学べます。

試験は、12の都道府県でのみ実施され、健康科学部の学生さんは東京の会場を受験をすることになります。受験申し込みを学校単位で行うので、受験番号が連番で割り当てられ、試験会場の前後の席はいつも顔を合わせている同級生となることがほとんどです。いくらか緊張が和らぐことでしょう。

健康科学部では、1年生の頃からガイダンスを実施し、国家試験がどのようなものか情報提供をしております。2・3年生では必修問題と基礎的な看護の内容について模擬試験を実施しております。国家試験対策が本格化する4年生には、計4回の看護師国家試験模試(保健師は計2回)に加え、看護師国家試験対策講座として5日間(保健師は2日間)の講義を実施しております。国家試験の傾向

と対策を学ぶことは大変重要です。その他、過去の国家試験問題と解答が搭載されているWebツールを導入しており、学生さんには広く活用してもらっております。

それだけではなく、最も肝心なのが学習方法や模試の復習方法などです。健康科学部の教員は数名(2~3名)の学生さんを担当し、学習状況の把握と具体的なアドバイスを行っております。

本学部は開設以来、すべての学生さんが国家試験に合格しており、今年度もすべての学生さんが合格することを祈っております。教職員一同が気を引き締めて支援をしていきたいと思っております。

学生さんが気を付けるべきことは、当日までの体調管理です。新型コロナウイルス感染症などの流行期に発熱してしまうと、PCR等で陰性が証明できないと試験会場に入れません。看護師国家試験は1年に1回しか開催されませんので、体調管理は絶対必要です。そのためには、家庭内での感染予防が最も重要です。関係する皆様も十分に注意いたしましょう!

少し先のことを言えば、来年4月には学生さんは卒業し、「看護師となり多くの患者さんの助けとなる」という夢がかなっていることでしょう。その日を思い描いて、この大切な時期を悔いなく過ごしてください。

教職員一同心を込めて、フー!フー!東・邦・生。

